

ワークショップで語られたエピソードからわかったこと ～エピソード分析からみたこども食堂～

数字とエピソードから見える
「こども食堂で起こっていること」調査報告会

2025年 5月 20日 (火)

Contents:

0. はじめに
1. 変化は誰に生じているのか
2. どんな変化が生じているのか
3. どのようにして変化が生じているのか
4. まとめ

0. はじめに

エピソードとは

むすびえが各地の地域ネットワーク団体と共に実施した公開ワークショップで語られた、「こども食堂をめぐる目にしてきた様々な変化」など、印象に残っているエピソード。

分析対象となったエピソードの概要

エピソードの出典：2022年～2024年に実施された全国公開ワークショップにおいて、こども食堂運営者等が語ったもの

分析対象となったエピソードの数： 119

エピソードの中で語られた変化の数： 144

1つのエピソードの中に、複数の主体の変化が含まれる場合があるため、エピソード数と変化の数は一致しない

1. 変化は誰に生じているのか？

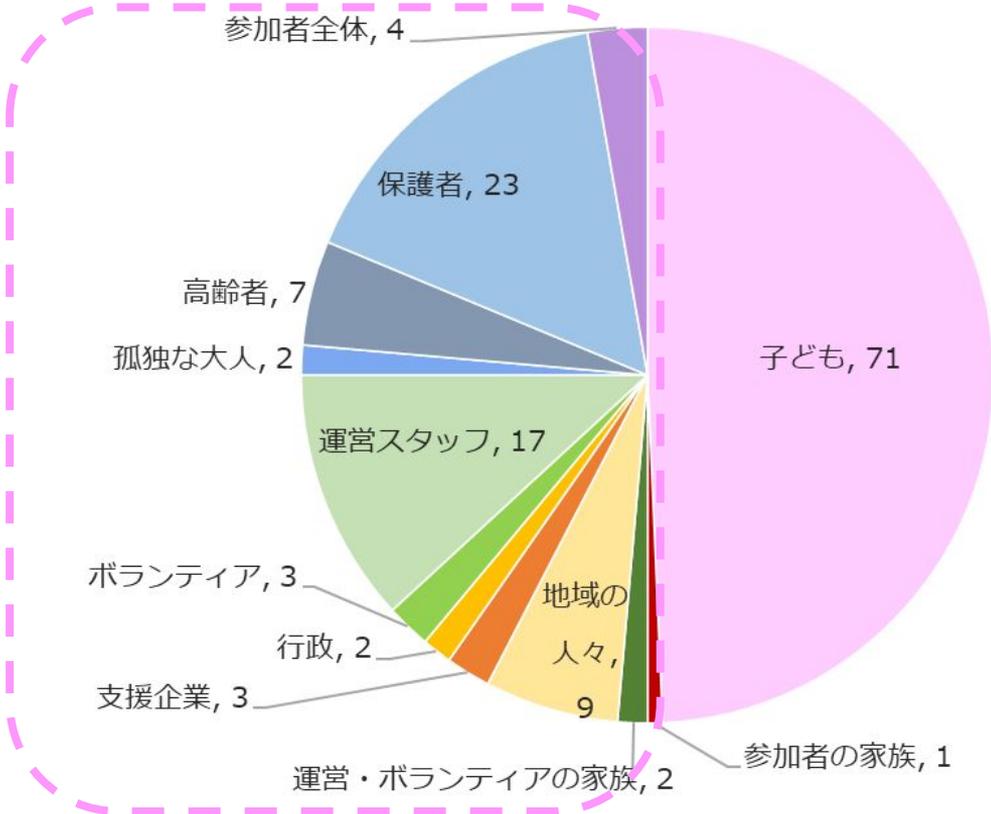
1. 変化は誰に生じているのか？

変化の主体

こども食堂を通じた変化のエピソードは、子どもについてだけではなく、大人も主体になっている

エピソードからみられた変化について、変化の主体別にみると、子どもと、こども食堂に参加する保護者や高齢者、運営スタッフなどの大人が、ほぼ同数。

こども食堂をめぐる様々な変化の主体別内訳



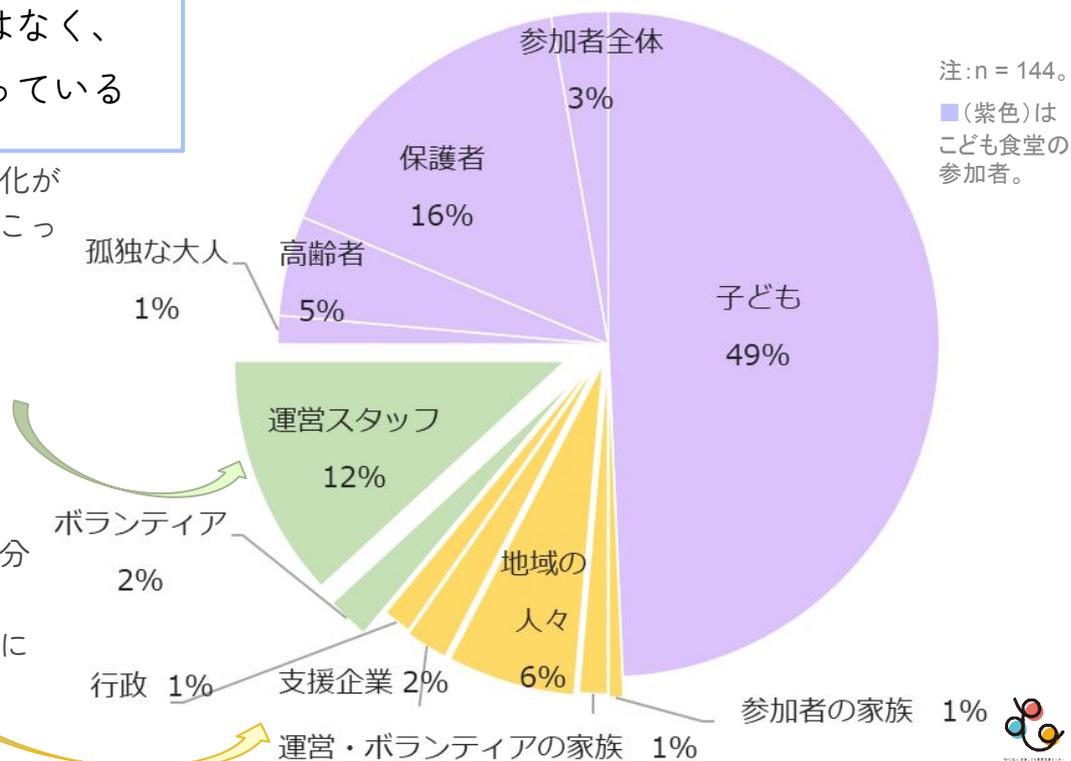
1. 変化は誰に生じているのか？

変化の主体

こども食堂を通して、参加者だけではなく、運営者や地域の人々にも変化が起こっている

- エピソードからは、参加者についての変化が3/4。残りの1/4は参加者以外について起こった変化。
- 参加者以外に起こった変化の内、約半分（エピソード全体の約14%）は、運営者（スタッフ・ボランティア）についての変化。
- 参加者以外に起こった変化の内、残り半分（エピソード全体の約11%）は、こども食堂をとりまく地域（こども食堂に直接参加していない地域住民、行政等）についての変化。

こども食堂をめぐる様々な変化の主体別内訳



2. どんな変化が生じているのか

2. どんな変化が生じているのか？

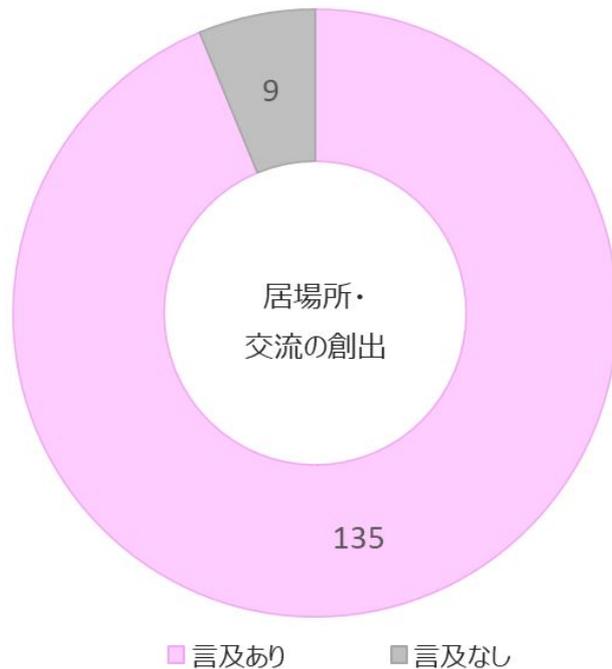
変化と居場所

こども食堂は、地域のみながつながる場、地域の居場所になっている

エピソードの中で、「居場所ができたこと」「地域のつながりができたこと」に言及しているものが大部分。

(言及がないものは 行政・社協の変化などについて)

こども食堂をめぐる様々な変化において、居場所について言及した割合

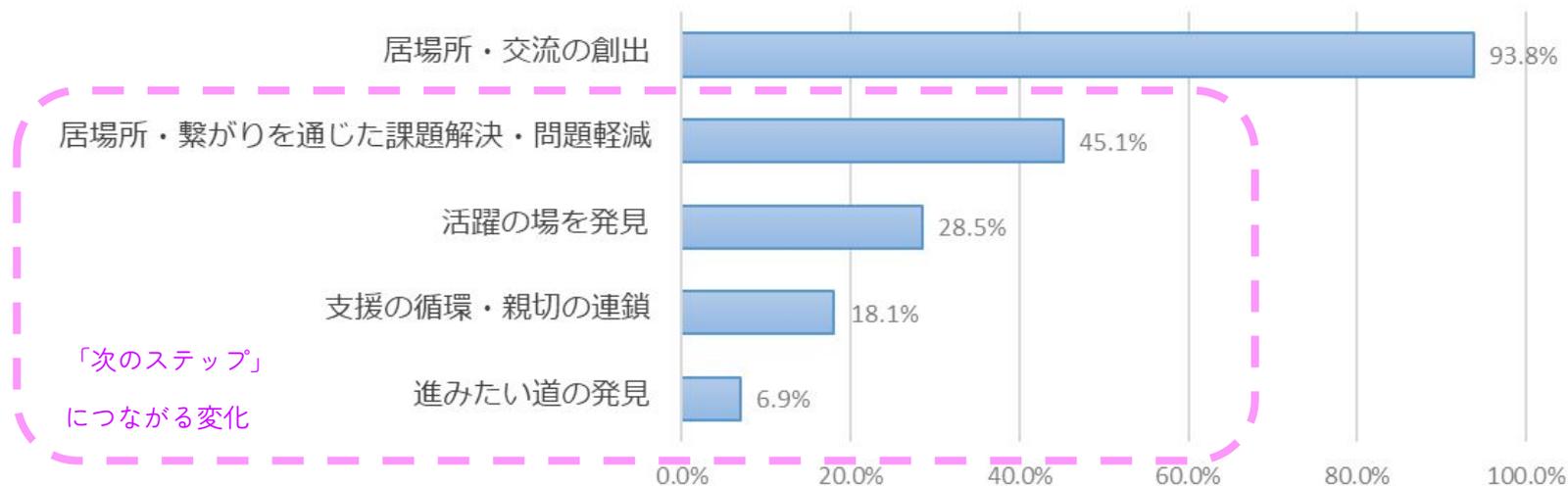


2. どんな変化が生じているのか

変化のカテゴリー

居場所・つながりができたという変化に加えて、居場所・交流を通じて「次のステップ」につながる変化も多く生じている

変化の種類

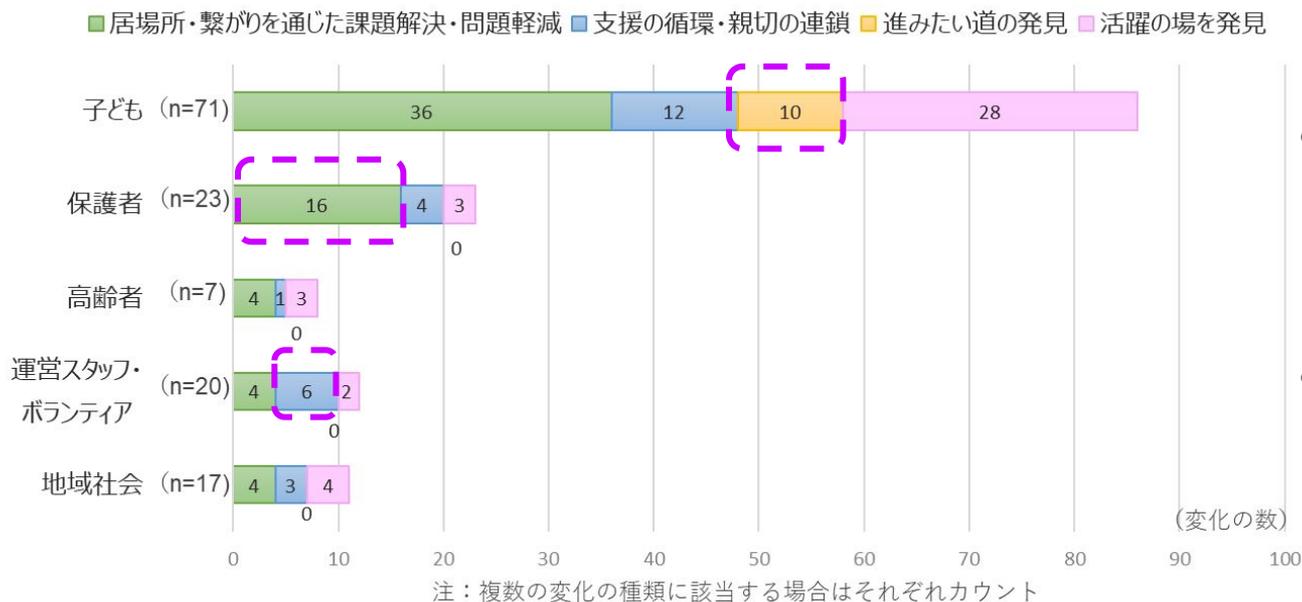


2. どんな変化が生じているのか

次の一步につながった変化

こども食堂のつながりは、いろいろな人がそれぞれの形での、活躍できる場、次のステップにつながる場を創り出している。

主体別に見た変化の種類



- 子どもの場合、こども食堂での変化の結果「**進みたい道の発見**」につながったケースがある。
- 保護者については、居場所やつながりを通じて**子育ての悩みや負担が軽くなった**という変化が多くみられる傾向がある。
- 運営スタッフやボランティアについては、**支援されていた人が支援する側**に変わった/変わろうとしているエピソードが多い。

3. どのようにして変化が生じているのか？

3. どのようにして変化が生じているのか？～変化が生まれた背景

変化のエピソードで語られる「こども食堂」とは

変化が生じるこども食堂は、「みんながつながれる居場所」であり、そこには「助け合える関係」があり、さらにそこからの「次の一歩を支える場」にもなっている

こども食堂を、どんなところと捉えているか

みんながつながれる、戻ってこられる居場所

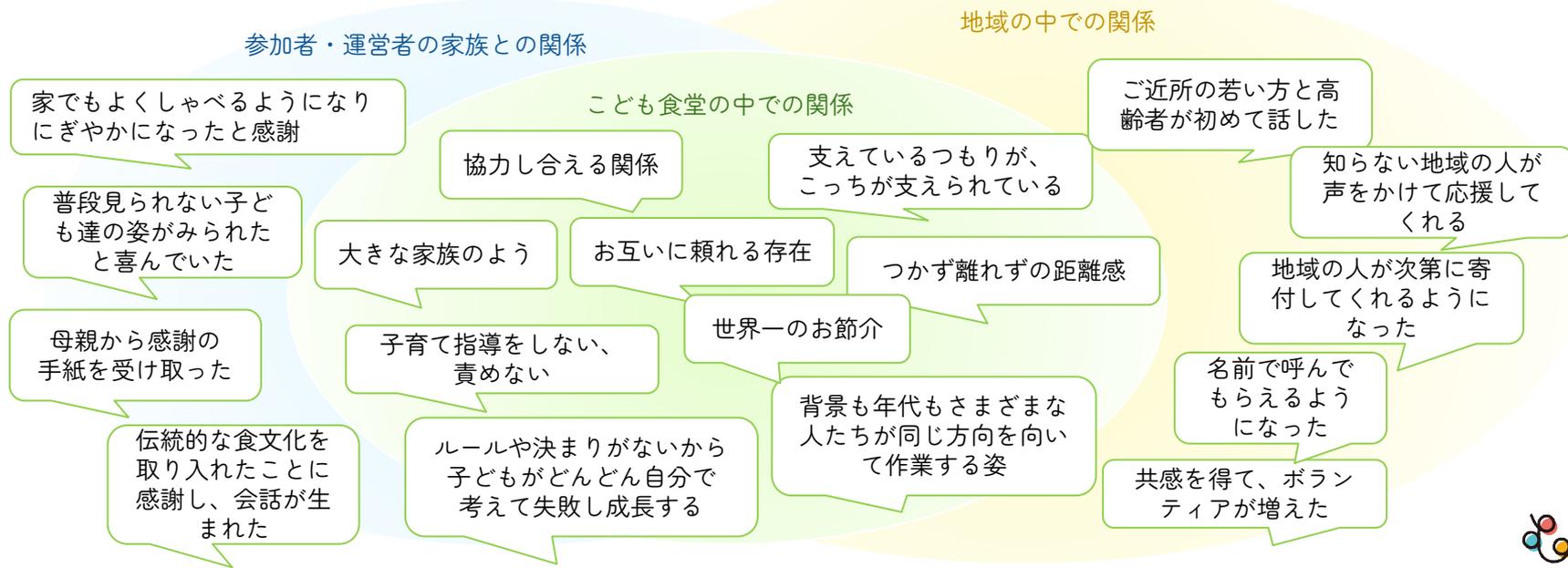


注：赤枠は子どもの発言を引用したもの。緑枠は運営者の自身のコメント。

3. どのようにして変化が生じているのか？ ～変化が生まれた背景

エピソードで語られる、こども食堂で生まれた関係性

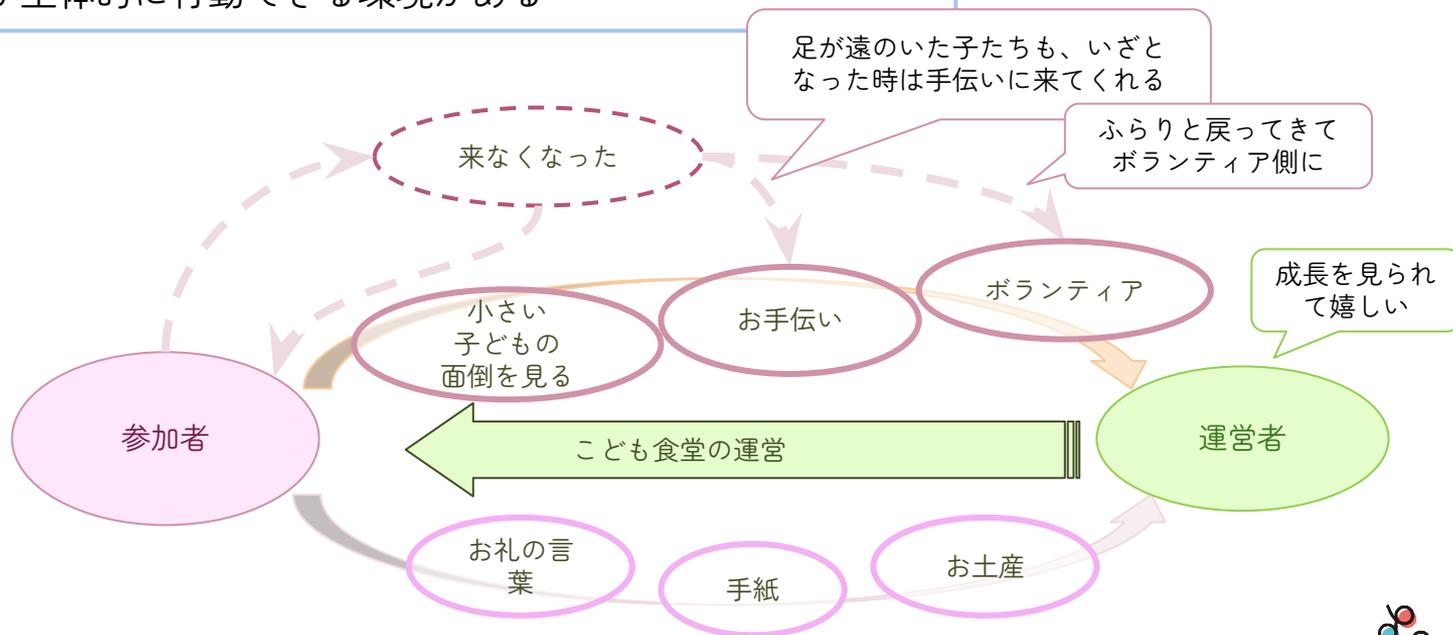
こども食堂には、多様な立場の人が存在する中で、認め合う・尊重し合う関係性がある



3. どのようにして変化が生じているのか？ ～変化が生まれた背景

こども食堂の参加者と運営者の関係

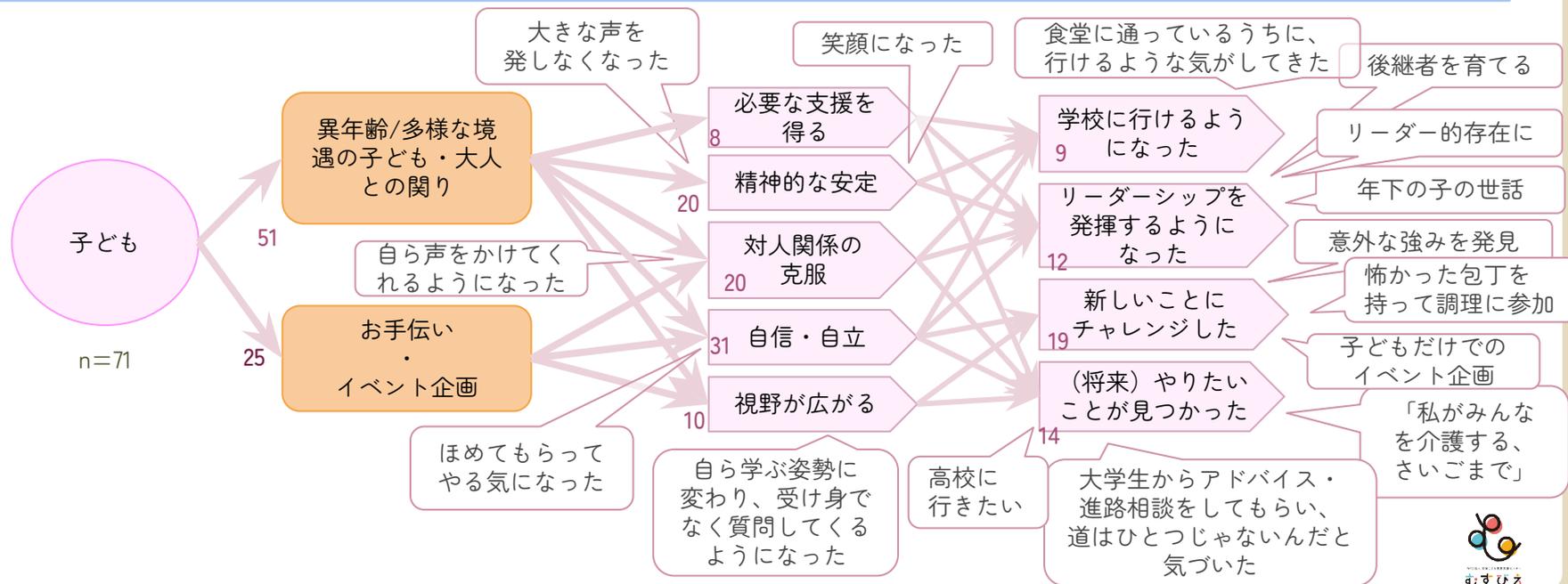
こども食堂の「支援する／支援される」の関係は固定されておらず、柔軟で、誰もが主体的に行動できる環境がある



3. どのようにして変化が生じているのか？ ～変化が起こるプロセス

変化のながれ

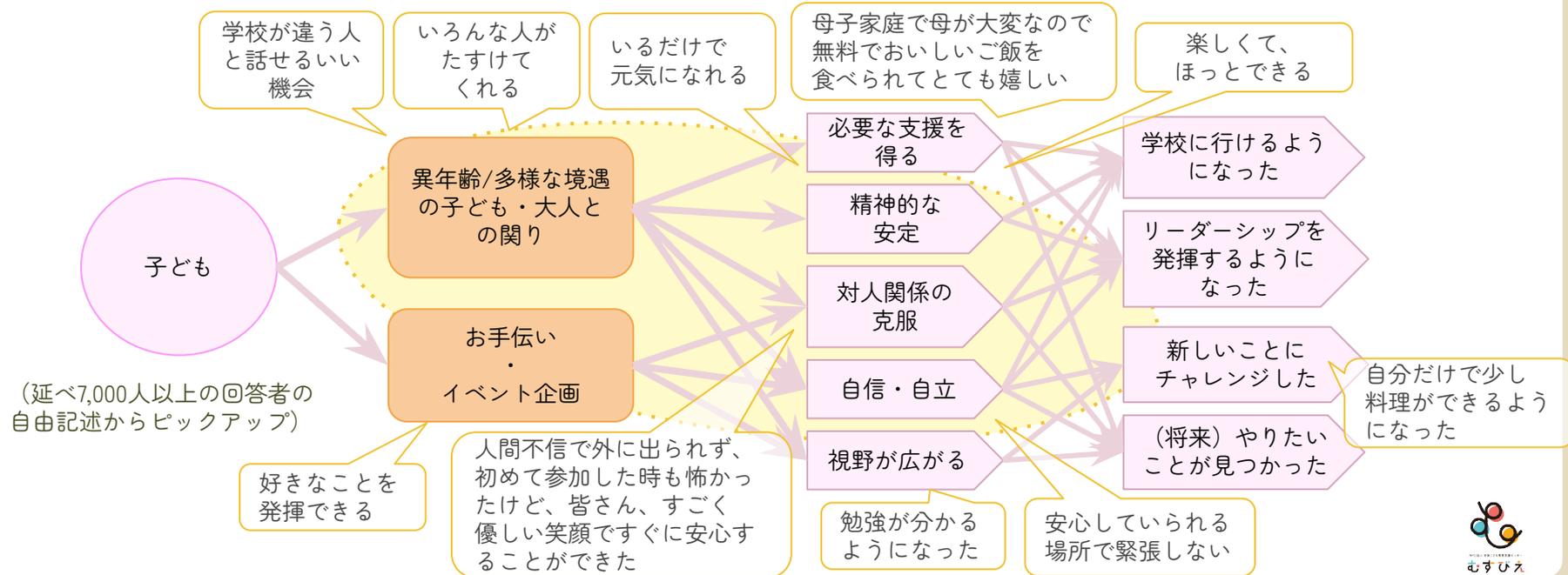
子どもの場合、新しいことにチャレンジする、やりたいことが見つかるなど、次へのステップ・成長の機会につながっていた。



3. どのようにして変化が生じているのか？ ～変化が起こるプロセス

※定量調査の自由記述結果との対応

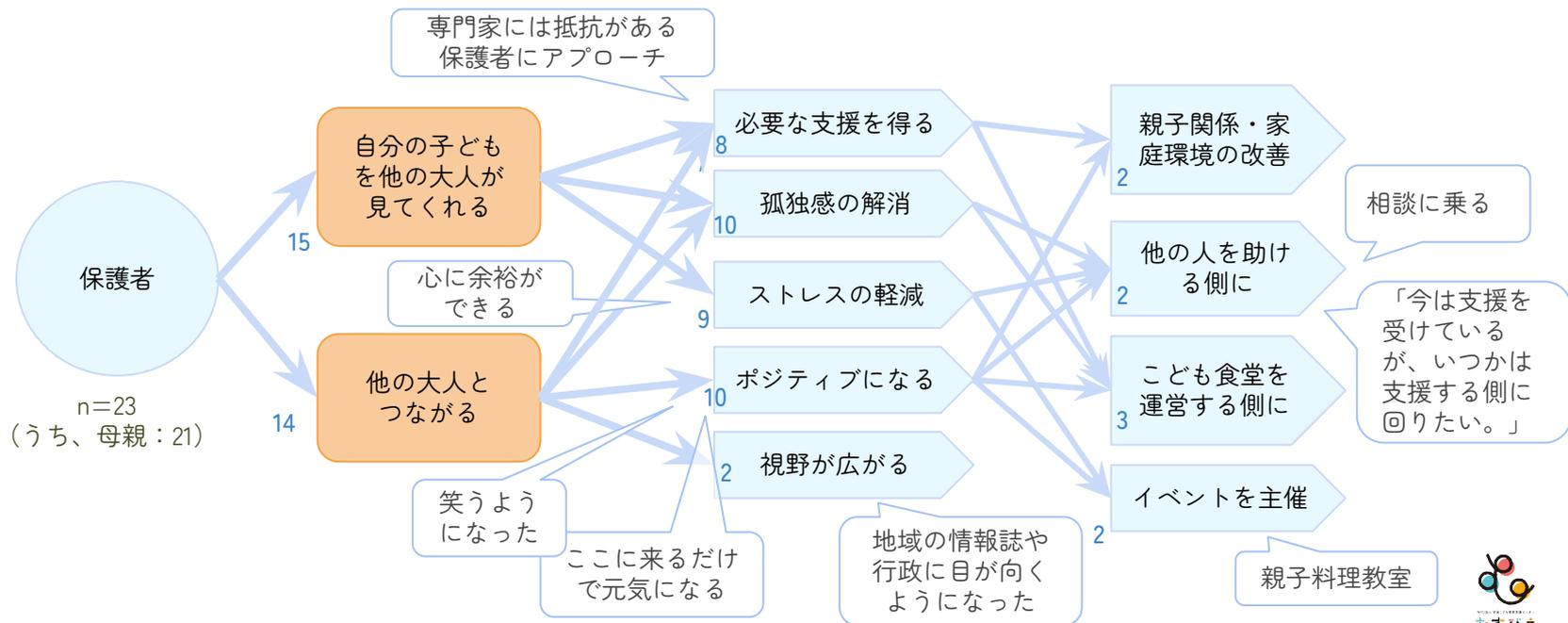
子どもの回答としても、こども食堂の安心感などのコメントが多く、「居場所」として認識されていた。また「いろんな人に会える」という多様性についてのコメントが見られた。



3. どのようにして変化が生じているのか？ ～変化が起こるプロセス

変化のながれ

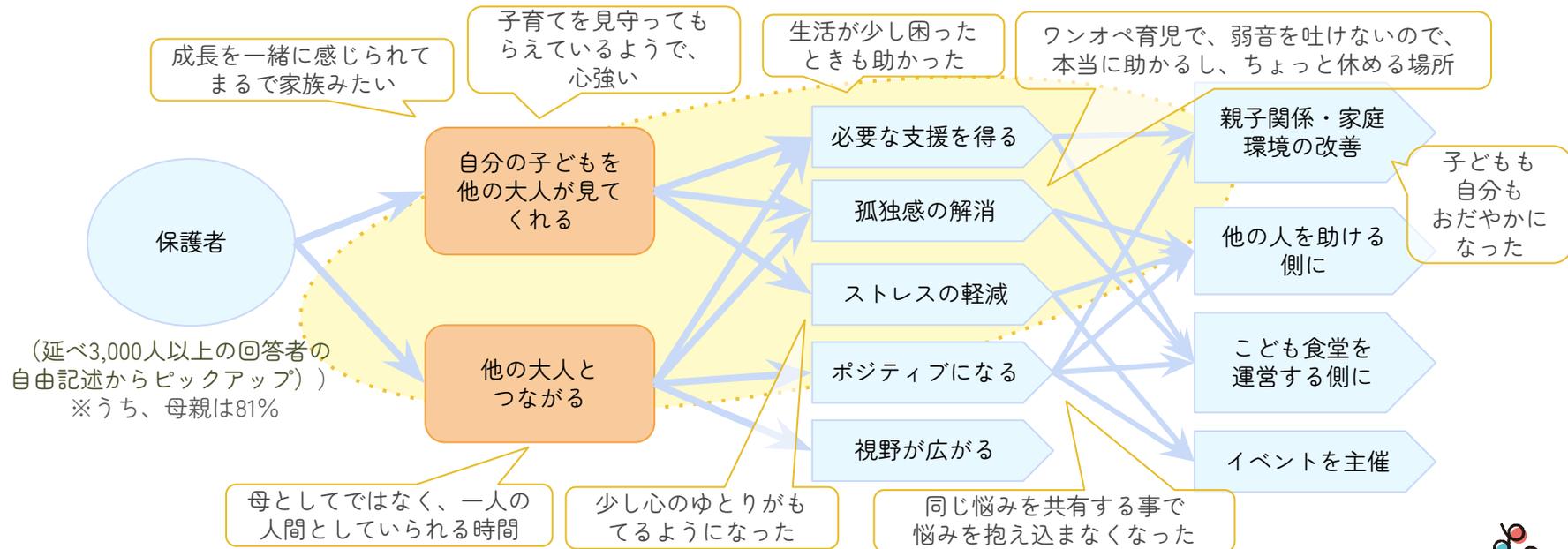
保護者が抱えていた子育てについての課題・負担感が、軽減・解消され、家庭内・社会にポジティブなインパクトが波及した。



3. どのようにして変化が生じているのか？ ～変化が起こるプロセス

※定量調査の自由記述結果との対応

保護者からは、子育ての負担感や孤立感を軽減してくれる場としてのコメントが多く見られた。



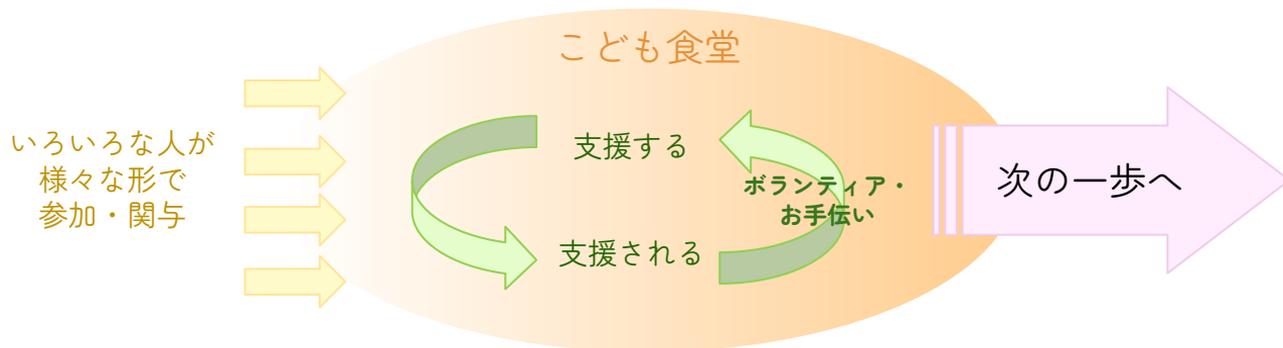
4. まとめ

～変化のエピソードから見えてくるこども食堂の可能性～

4. まとめ

こども食堂で生じている変化とは

- こども食堂は、子どもだけでなく、大人も含めた地域住民の居場所・つながりの場として機能している
- こども食堂には支援する／支援されるが固定していない関係性があり、誰もが主体的に行動できる環境がある
- こども食堂でのつながりを通じて、次の一歩につながる変化も生じている



ありがとうございました。